

KOUNAN SMILE

～江南ラミネートを取り巻くすべての人たちに笑顔を～

vol.106
2025.7

7月26日
ボーリング大会
& 慰労会



社員旅行7年ぶりに復活！“楽しむ”ことの大切さを感じた3日間

7年ぶりに、待望の社員旅行を実施しました。コロナ禍の影響で長らく中止となっていた社員旅行ですが、2018年の台湾旅行以来、ようやく開催できることになりました。本来は昨年の実施を予定していましたが、さまざまな事情で今年に延期し、6月13日～15日の2泊3日で沖縄へ行ってきました。例年、梅雨の時期にあたる沖縄ですが、今年は奇跡的に梅雨明けが早まり、滞在中は天気にも恵まれました。ちなみに、もし昨年に実施していたら、ちょうど梅雨真っただ中。延期になったことにもきっと意味があったのだと思います！

久々の社員旅行ということもあり、なんと参加者の約半数が初参加！初めての経験にドキドキしつつも、皆で一緒に過ごす時間にワクワクもいっぱいでした。旅行の詳しい様子は【号外】を発行していますのでそちらでお楽しみください♪ 旅行後には、観光地・食事・全体満足度などを5段階で評価するアンケートを実施しました。好みの違いからバラつきはあるものの「不満」「やや不満」の評価は非常に少なく、特に**旅行全体の満足度では、低評価がゼロ**という驚きの結果に！しかも**「とても満足50.0%」「満足40.9%」で約91%**を占める結果となりました。年代も価値観も異なる20代から60代までのメンバーが、同じ行程を過ごし、同じ時間を共有し、ここまで高い満足度を得られたのは本当に素晴らしいことです。それはきっと、皆さん一人ひとりが**「楽しもう」とする姿勢を持って参**



沖縄でのあるショットをAIに生成してもらいました

加してくれたからだと思います。楽しい旅行というのは、あらかじめ用意されているものではありません。どんな行程でも、どんな状況でも、それを**どう楽しむかは自分次第**。それは仕事にも通じることです。楽しい仕事があるのではなく、自分自身がそれを楽しむかどうかで大きく変わってきます。旅程の中には、退屈に感じた場面や好みに合わなかった食事もあったかもしれませんが。その中でも自分が楽しめることを見つけ、**不満の部分ではなく楽しい部分にフォーカスしてくれたからこそ、旅行全体が素晴らしいものになったのだ**と思います。

今回の旅行を成功させてくれた**旅行チームリーダー・早川さん**は、JTBとの打ち合わせや社内調整など、気苦労があったことと思います。本当にありがとうございました。そして長期にわたり伴走しサポートしてくださった**JTBトラベルビジョンさん**の存在も忘れてはいけません。旅行中、機械を稼働し業務をしてくれた皆さんにも心から感謝します。そしてっ！まああ贅沢な旅行にも関わらず、**「ナクルナイス～」と快く送り出してくれた社長にも感謝**ですね！社員旅行を実施する企業は年々減る傾向にあります。社員旅行自体、時代の流れに逆行しているかもしれません。でもだからこそ、大事にしていきたいなと思います。

「やっぱり社員旅行っていいもんだな」
——そんな思いを改めて感じられた3日間となりました。
by きよこ



江南社員による オススメのすゝめ

始まりました、新コーナー！「この店オススメ！」
「この場所が穴場！」「桜を見るならここ！」

「釣りを買うならこの店！」など本当は教えたくないけどやっぱり教えたくなくっておきの情報を公開していくコーナーです。四国中央市に限らず日本全国津々浦々、自分が良い！と思うオススメを紹介していきます。

トップバッターは新田が務めさせていただきます。
今回私がオススメしたい場所は四国中央市にある「歴史考古博物館-高原ミュージアム-」です。中央病院にほど近い場所にひっそりとある博物館でいつも閑散としています笑。しかし皆さん知らないかもしれませんが特別展示など面白いイベントも定期的開催されているんです。今年の春は江戸時代の四国中央市民がどのようなルートでお伊勢参りをしたか当事者の日記をもとに展示されていました。土居から丸亀まで1日とかからない健脚具合に、昔の人ってすごい、と想いを馳せました。また、恒常でミニ銅鐸作り体験が出来たり、8月には紡錘車での糸作り体験も予定していま

す！是非今年の夏は高原ミュージアムへ！
続いて、京都のオススメのお店を紹介します！それは京都の今宮神社の参道にある「あぶり餅一和」です。きな粉をまぶした一口サイズの餅を竹串にさし炭火であぶり、甘い白みそだれをかけていただくあぶり餅を販売しています。これがめちゃくちゃ美味しいんです。一皿13本入りなんですけど1人で食べれてしまうくらい美味しいです。なんとこのお店、創業1000年を超えている日本で最古の和菓子屋さんなのです。(余談ですが私の大学時代の友人がこちらのお店の娘さんでした) 平安時代、源氏物語が書かれたころにはもう存在していたのかと思うと感慨深いものがあります。京都を題材にしたドラマや映画のロケ地としてよく利用されるそうなのでもしかしたら芸能人に合えるかもしれませんね。最後に、四国中央市のオススメのお店を紹介して終わります。川之江高校の近くにある「焼き鳥善ちゃん」がオススメです！世間一般の焼き鳥より少し身が大きく、満足感を得られると思います！個室は無いので知り合いが居たらちょっと気まずいですが、みんな美味しい焼き鳥に夢中なので問題ありません。ぜひ行ってみてください！次はどんな所が紹介されるのか...お楽しみに♪

6月19日 セミナー受講in松山



松山で開催された「働き方改革推進リーダー養成講座」に、社長が参加しました。全3回にわたる講座で、働き方改革を実践的に学び、今後の職場環境づくりに生かしていく予定です。

6月10日 イベントチームMtg



ボーリング大会
写真コンテスト

イベントに向けて打ち合わせを実施。社内SNSでの写真コンテストや、昨年復活したボーリング大会など7月は目白押しです。みんなが楽しく参加できるように工夫を凝らしながら準備を進めています！

おNEW制服

女性陣の夏の制服をリニューアルしました



それぞれの推しポイント
指してみました♪

五人五色の推しポイント
かつかわいい制服です

6月2日四国中央未来塾プレゼン&新企画始動

四国中央市に向けたプレゼンを経て活動への援助を得て、今年度の新たな企画への応募がいよいよスタートしました。今後の展開にご注目！



HAPPY BIRTH DAY 7月		富家 恭蔵	1日	保土 立樹	10日
		堤 博俊	4日	脇 勝	11日
		神野 有貴	8日	瀧 亮平	29日
		新田 有里	9日	橋本 理絵	31日

カツ社長がゆく」の巻

◆第13回 社内木鶏全国大会に参加して

6月21日、第13回社内木鶏全国大会に伊丹さんとともに参加してまいりました。今回は高知空港から出発し、羽田空港に到着。昼食に回鍋肉定食をいただき、エネルギーを蓄えて会場へ向かいました。幸運にも前方の席に座ることができ開会を迎えました。

会場は千人以上の参加者で熱気に包まれており、(株)ハイテックシステム、(株)坂東太郎、(株)アイデックス、(株)ジェイ・ポートの4社による事例発表が行われました。いずれも社長と社員の距離が近い中小企業であり、共通していたのは「会社をよくしたい」「社員に幸せになってほしい」という強い想いのもと、**社内木鶏会を導入されたという点**でした。

ただ導入当初は、社員の理解が得られず、社長が孤立し、精神的に苦しんだ日々もあったそうです。それでも諦めずに継続する中で、**木鶏会の意義を理解し協力する社員が徐々に増え、社風が変わり、やがて業績の向上へとつながった**というお話しに、深く感銘を受けました。

◆木鶏会がもたらす変化と希望

中でも心に残ったのは《感動大賞》を受賞した(株)ジェイ・ポートの発表です。会社を立て直そうと奮闘する社長とそれを支える妹さん。木鶏会を始めたところ社員が参加してくれないことに悩み苦しんでいた兄である社長。その社長の想いを、なぜ木鶏会を行うのかという真意を、社員一人ひとりに語り少しずつ参加者を増やしていった妹さん。私は兄弟がいなかったため、こうした「家族経営」のよう互いに支え合える関係性をうらやましく思うことがあります。悩みがあっても一人で

抱え込むしかない私にとって、**会社が前に進むためには社員の皆さんが良き理解者であり、協力者であってほしい**と切に願っています。最近では自分のやりたいことがなかなか実現できず、むしろ想いとは反対の方向に会社

が動いているように感じ、正直心が折れそうになることもあります。「考えすぎかもしれない」と思いたい一方で、不安を拭いきれないのが本音です。

◆「呼吸を合わせる」ことの大切さ

後半は致知出版社・藤尾社長の講演。私はこれまでに10回以上拝聴していますが、毎回新たな気づきをいただきます。今回は「**すべての組織はナンバワンとナンバツの呼吸がびつたり合っていないければ発展しない**」というお話が特に心に残りました。ナンバワン(社長)とナンバツ(幹部)が一枚岩となって取り組むことが、会社の力を何倍にもします。逆にその関係性が崩れると、会社は簡単に傾いてしまいます。これは家庭にも通じる話で、たとえば父親が遅く帰宅しても、母親が「私たちのために頑張ってくれているのよ」と言えば、子どもは父親を尊敬し、良く育つという例が挙げられました。つまり、**社長の行動をナンバツが「翻訳」し、信じて支えることで、社員は安心し、会社は確実に成長する**ということです。逆に、陰で批判し協力を怠れば、会社はあっという間に衰退してしまいます。

帰路は羽田空港で、定番の牛タン定食“を味わい、高知空港を経て無事に川之江に帰ってきました。今回の大会と講演を通じて、改めて自分自身の在り方、そして組織の在り方について深く考える機会となりました。来年は、より多くの社員とこの経験を共有できるよう、**社内木鶏会の意義を丁寧に伝えていき**

克晴